



高齢者を事故から守る

交通安全母の会が署名提出

町交通安全母の会連合会(千葉千代子会長)が10月24日、町民3930人が署名した「高齢者を交通事故から守る交通安全誓約書」を町に提出しました。

この取り組みは、高齢者を事故から守るため、交通安全の呼びかけと事故のないまちづくりを目指し、同会が中心となり活動を行っているもので、誓約書では「運転する時は思いやり運転に努める」など7項目を誓っています。



文化財に使う木材確保に

平泉古事の森事業

文化財の修復に使う木材の確保や森林保全に取り組む「平泉古事の森」が10月1日、奥州市衣川区の月山国有林で開催されました。

同事業は作家の故立松和平さんが提唱し、今年で4回目。この日は平泉、長島両小学校と同市立衣川、衣里両小学校の4年生104人が参加。児童らは丸太を輪切りにする作業を行った後、輪切りにした丸太をヒバやケヤキの木の周りに敷き詰め、雑草を抑える作業を行い森林保全に取り組んでいました。



自然豊かな地域をつくる

一関地方育樹祭

平成24年度一関地方育樹祭(一関地方農林業振興協議会など主催)が10月14日、当町の西行桜の森で開催され、地域住民や関係者ら約220人が参加しました。

小学生児童や関係者らによるオオヤマザクラの苗木の記念植樹が行われたほか、小学生が同森内に生育するサクラの木などに樹名板を設置。一般参加者がサクラの木の枝打ちを行うなど、緑を守り自然豊かな地域づくりを目指した活動が行われました。



文化財保護を考える

ユネスコ活動研究会 in 平泉

平成24年度東北ブロック・ユネスコ活動研究会岩手大会 in 平泉が10月13日、14日の両日、平泉小学校体育館を主会場に開催されました。同大会には東北各地のユネスコ関係者ら約300人が参加。オープニングイベントで延年の舞が披露されたほか、町内コーラスグループや参加者によるユネスコの歌が斉唱されました。その後基調講演やパネルディスカッションなどが行われ、文化財保護や後世への継承について意見が交わされました。

東京で平泉をPR

江東区民まつり

水かけ神輿を通じて交流を深めている東京江東区の江東区民まつりが10月20、21日の両日、都立木場公園で開催されました。

同区と交流のある全国37自治体に参加する「はるばるバザール」に当町も出店。平泉の特産品や農産物を販売、PRしました。

物産展には、農業団体など9団体21人が参加。町内産農産物をふんだんに使った芋の子はっと汁も店頭並び、多くの来場者の舌を楽かせていました。



姉妹都市30周年を記念

田辺市弁慶まつりに参加

武蔵坊弁慶ゆかりの地として姉妹都市提携を結んでいる和歌山県田辺市の「弁慶まつり」が10月6、7日の両日、同市で開催され、平泉町から弁慶力餅保存会の役員ら6人が姉妹都市提携30周年を記念して表敬訪問しました。

まつりでは、弁慶よさこい踊りや迫力あるミュージカルなど多彩なイベントが繰り広げられたほか、メインイベントの「弁慶ゲタ踊り」では訪問した6人も踊りに参加。弁慶を通じた交流の輪を広げました。

